広報 としま 特集版

2018年 6月号 No.1786

「善き隣人」として。

「民生委員・児童委員」を知っていますか。
地域の皆さまの悩みの相談や見守りなど、
さまざまな活動をするボランティアの方々です。
おなじ区、おなじ地域に住むからこその“おなじ目線”。
小さな「困ったな」に寄り添います。

主な内容

2・3面 特集 安全・安心・福祉のかけ橋
平成30年は東京の民生委員制度誕生100周年です

4・5面 AI時代を生きる
豊島の教育の強み!
～子どもたちの未来を応援します～

国際アート・カルチャー都市としま

2019年「東アジア文化都市」
国内都市に決定

平成30年（2018年）6月1日発行
発行：豊島区
編集：政策経営部広報課
〒171−8422
豊島区南池袋2−45−1
☎3981−1111
ホームページ http://www.city.toshima.lg.jp/

TOSHIMA
International City
of Arts & Culture

安全・安心・福祉のかけ橋

平成30年は東京の民生委員制度誕生100周年です

民生委員・児童委員はこのバッジが目印です

▲東京都民生委員・児童委員のキャラクター「ミンジー」

今から100年前の大正7年6月13日、
東京の民生委員制度の前身である「救済委員」の活動は始まりました。
"生活実態を把握し、親身になって相談に乗り、
自立に向けて救済方法を思案する"その活動は、
まさに現在の委員活動の原点とも言えるものでした。
誕生当時およそ140名だった東京の委員は、今では1万名にもおよびます。
豊島区を、地域を、区民のくらしを応援する
民生委員・児童委員の活躍をのぞいてみました。
問福祉総務課民生・児童委員グループ☎3981－1722

\interview/ まずは、人と人の関わり合い

巣鴨地区 民生委員児童委員協議会 会長　吉田英昭さん

町会の役員であることをきっかけに、当時の町会長に声をかけていただき民生委員・児童委員の活動を始めました。それから13年たった今でも、月10日の仕事の傍(かたわ)らで委員活動も両立させています。

★「知る」ことの大切さ

高齢の方または障害のある方の病院の付き添いや、学校訪問など活動はさまざまです。区と連携し依頼を受けて、高齢で一人暮らしをしている方の様子を見に自宅へ伺うことも、見守り活動の一つです。実際にご本人と面会できなければ、外からの様子に異変がないか確認します。具体的には、電気が数日間消えたままでないか、郵便受けに大量に郵送物がたまっていないかなどですね。まず、状況を「知る」ことが大切です。実際に地域に住んでいる私たちが区民のもとへ足を運ぶことで、表面上には現れないSOSが初めて見えることがあります。その信号を汲(く)み取り、区の担当課に繋(つな)げて、やっと支援の第一歩を踏み出します。

★はじめは顔見知りから

近年、大規模なマンションなどの建設が盛んでセキュリティ強化が進むなか、地域のコミュニティが希薄になったと感じます。地域に住む人々の顔を見る機会が少なくなりました。時代の流れといえばそれまでですが、「今までのような活動ができなくなった」という声は他の委員からも聞こえてきます。

具体的な解決策となると難しいですが、区民が地域の集まりに出てくる機会をより大切にするようになりました。たとえば、祭りなどの町会行事や民生委員・児童委員主催のサロン活動のなかで子育て中の保護者と世間話をすると、顔見知りになります。子どもが学校に通う年齢になれば、学校訪問のときに様子を聞くようになる。そういった積み重ねで、コミュニティが作られていくのではないでしょうか。あくまで、同じ地域に住む人と人の関わり合いが前提にあります。そのなかで、もし困ったことがあったときに、民生委員・児童委員として力になれるのではないかと思っています。

民生委員・児童委員ってなんだろう？

Q. どんな人がなるの？

A. 地域に詳しく、福祉活動やボランティア活動に理解と熱意がある方が地域からの推薦を経て、厚生労働大臣から委嘱(いしょく)されます。

▲任期は3年で、再任も可能です

Q. どんなことを相談できるの？

A. 高齢でのひとり暮らしや子育てなど、生活について心配ごとがあれば相談してください。行政機関や社会福祉協議会などの橋渡し役も担っているので、だれに相談したらよいか分からないことでも、気軽に声をかけてください。お住まいの地域の担当委員が分からない場合は、民生・児童委員グループまで問い合わせてください。

Q. 同じ地域の人に悩み事を知られると、話が広まりそうで不安なのですが…

A. 活動のなかで知り得た情報は、守秘義務があるため、一切口外しません。委員退任後も同様ですので、安心して相談してください。

巣鴨地区子育てサロン「さくらんぼ」にお邪魔しました

今回は、子育てをより楽しくするプログラム「レッツ・ソング」を開講。赤ちゃんも保護者も、みんなで参加。歌って踊って、楽しいひとときを過ごしました♪

\利用者の声/

子どもと一緒に自由に遊べる広さが魅力です。ハイハイや寝返りの練習にも役立ちました。乳児期は、月齢が近い子どもをもつママ同士で離乳食の情報交換をしたりしました。「大きくなったね！」と、子どもの成長を共有してもらえることが嬉しかったです。家が近い地域の方と知り合えたので、よかったです。

もっと教えて！活動いろいろ

集まろう

赤ちゃんと一緒に保護者が参加できる「子育てサロン」や、気軽に立ち寄れる「高齢者サロン」を運営しています。おしゃべりを楽しめる交流の場を設けることで、地域の輪を広げます。

▲サロンでは出前講座なども開講されます

呼びかけよう

警察から提供される区内の犯罪情報をもとに、特殊詐欺への注意喚起を行なっています。初夏には熱中症予防などの呼びかけをし、高齢者を対象に対策グッズの配布もしています。

▲時には街頭に立って活動をすることも

備えよう

区と連携し、災害に備えた支援体制づくりに協力しています。災害福祉マップの作成なども行ない、地域の災害時支援や日々の見守り活動に役立てています。

災害福祉マップ

▲防災訓練にも積極的に参加します

繋(つな)げよう

各地区で、8月をのぞき毎月協議会が行なわれています。地域の困りごとを区などに伝え、情報提供を受けて、より良いまちづくりに取り組んでいます。

▲地域全体の情報を共有できます

50戸訪問はじまります

東京の民生委員制度誕生100周年を迎えるにあたり、民生委員・児童委員が地域活動の一環として、平成30年度・31年度に各50戸、計100戸の訪問を行ないます。これまでに訪問した以外の方を対象に、6～9月に実施予定です。

オリジナルデザインのポケットティッシュを持って訪問します

AI時代を生きる豊島の教育の強み！
～子どもたちの未来を応援します～

区立小・中学校では、いつでも、どこでもパソコンを活用した学習ができる環境を整備しています。今年度からは、3人に1台のタブレットパソコンを配備し、ICTを日常的なツールとして活用できる学習環境になります。様々な教科でICTを活用し、主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）を実践することで、日本の未来を担うことのできる子どもたちを育成します。

問 教育部庶務課庶務グループ☎3981−1141

ICTとは？

情報技術（IT）にコミュニケーション（C）が加わったものです。これを活用したICT教育は、パソコンなどの機器を使いこなせるようになるだけでなく、論理的な思考や、コミュニケーション能力、子どもたちが生き抜く力を養うことを目的としています。

仰高小学校

ICTを活用して楽しく学ぶ「角の大きさを表す方法を考えよう！」

ICTを活用した4年生の算数の授業では、黒板の横に設置された実物投影機の大きな画面に、いろいろな角度の図を投影し、角度の測り方を学びました。その後はゲーム感覚で角度を学べるソフトを使って「まとあてゲーム」に挑戦！空に飛んでいるUFOの角度が大砲の位置から何度なのかタブレットで入力し、角度がぴったり合うとUFOに命中します。2人1組で取り組んだ子どもたちは「まとあてゲーム」に夢中になっていました。ICT支援員もタブレットの使い方を丁寧にサポートし、全員が楽しく学び合えるよう配慮しています。タブレットだけではなく、従来からある分度器や定規なども使って、工夫しながら角度を測る学習を行ない、理解を深めています。

授業を受けた児童から

的が離れているから、分度器と定規を使って直線を引いて、角の大きさが何度か測ってみたよ。ゲーム感覚で楽しかった。角度を測るイメージがわかったから、他のものでも分度器を使って正しく角度が測れそうだな！

学習情報センターを活用した調べ学習

学習情報センターは、本だけではなくICT機器を活用しながら調べ学習ができ、子どもたちの主体的・協働的な学びを生み出す場です。図書館資料とタブレットを並行して授業で活用したり、自分の考えをまとめて発表したり、学習の成果物などを蓄積し活用するなど、アクティブラーニングの土台作りに役立っています。

ICT支援員とは？

月4回、各校を訪問し、授業での操作支援、教材作成、講習会の開催のほか、ホームページの更新やアンケート集計など校務支援を行なっています。

池袋中学校

本に親しみながら発表する力、考える力をはぐくむ「ビブリオバトル」

ビブリオバトルとは、自分が面白いと思った本を持ち寄って5分間で順番に紹介し、その発表についてそれぞれ2、3分間のディスカッションを参加者全員で行なって、最後に一番読みたくなった本を投票で決めるものです。本校では、３年生の授業で取り入れ、学習情報センターの中にある本を選んで、おすすめポイントをプレゼンテーションします。

※マッピング…中心にテーマを書き、思いついたことを次々にメモをしてつなげていく方法

\ interview /

担当／冨岡沙織先生

今回のビブリオバトルでは原稿を作らずにスピーチを行ないました。社会に出たときに周りの様子に合わせて言葉を選んだり、内容を変えたりすることは必要なことです。タブレットの発表ノートを用いてマッピングを行なうと、途中で配置を換え、編集ができるので生徒たちが情報を整理しやすくなりました。また、学校図書館司書の方に参加していただき、選書の際に生徒たちがアドバイスをもらうことができました。生徒たちの学びをより深いものにするため今後も効果的にICT、学習情報センターを活用していきたいです。

ICT支援員／原田亮子さん

授業当日はタブレットの操作支援をしました。タブレットは学習情報センターにとどまらず、普通教室や体育館など様々な授業シーンで使われています。日々の授業の中で「分かったことが面白い」「新しいことをもっと知りたい」という気持ちが湧くようなICT活用ができるよう、支援をしていきたいと思います。

学校図書館司書／渡邉嘉子さん

ビブリオバトルでは、生徒たちの選書の手伝いをしました。ほとんど読書をしないという生徒もいて、ビブリオバトルの工程中、選書はもっとも難航した箇所です。

本探しをすることは、本の並びやどんな本があるかを知る良い機会です。授業や普段の図書活動の中で、本や書架を知るための学習やイベントが必須と感じました。「発信するメディアセンター」を目指して、楽しい企画を考えていきたいと思います。

原田亮子さん　渡邉嘉子さん

タブレット上で星空を観察「星空シミュレータ」

本校では、このほかにも理科の時間に「星空シミュレータ」を使って、授業当日の空や、自分が生まれた日の空を表示したり、自分の星座がいつどの方面の空に見えるか探したりする授業なども行なっています。本来なら、夜、長時間の観察が必要ですが、タブレット上で、簡単に星の動きを確認することができます。さらにタブレットを4台使用し、東西南北の空を同時に映し出すことで地球と実際の星空の位置を確認するなど、ICTの利点を活かした学習活動となっています。

すくすくふくろうナビ

2018年度　豊島こども大学生を募集

7月中旬～12月中旬の土・日曜日(全10回程度。原則すべての企画に参加)

立教大学文学部百周年記念事業のひとつである「豊島こども大学」の12期生を募集します。立教大学の学生と共に区の魅力に触れ、学び、遊び、いろんな体験を一緒にしませんか?

スケジュール

7月	開校式・近藤良平さんと遊ぼう!
8月	東京芸術劇場でパイプオルガン講座
9月	東京六大学野球観戦
10月	ハロウィン仮装行列
11月	区長とティータイム
12月	閉校式・クリスマスパーティー

※企画終了後、保護者による子どもたちのお迎えをお願いします。

◇区内在住、在学の小学3～6年生◇30名程度◇2,000円

申Eメール(①住所、②学校名・学年、③氏名〈ふりがな〉・性別、④電話番号・緊急連絡先を記入)で6月11日までに豊島こども大学EMtoshimakodomodaigaku2018@gmail.comへ※応募者多数の場合は抽選。6月19日までに結果を連絡します。

問子ども若者課地域支援グループ☎3981－2187

6月4日(月)から　子育てひろば「みゆきひろば」オープン!

●所在地…千早3－13－8(旧千早児童館の跡地)

●開館時間…平日午前10時～午後4時

※祝日、年末年始を除く。

3歳未満の乳幼児と保護者が、遊んだり交流したりできます。また、子育てに関する相談や講座など子育てに役立つ情報が盛り沢山! ぜひお越しください。

問保育課地域型保育事業グループ☎3981－1961

7月2日(月)から　子ども若者総合相談窓口がオープンします!

●相談時間など…平日午前8時30分～午後5時15分　子ども若者課窓口(区役所本庁舎4階)

●対象…区内在住、在学、在勤の子どもとおおむね39歳までの若者とその家族

●相談内容…日常・学校生活に関することや非行、家庭内暴力など

どんな相談でもお気軽に!

開設記念イベント　7月1日(日)　午後2～4時　としまセンタースクエア(区役所本庁舎1階)

◇詳細は区ホームページ参照。

問子ども若者課子ども若者支援グループ☎4566－2475

「子どものための禁煙外来治療費助成事業」が始まります

お子さんやご自身の健康のために禁煙しませんか。指定医療機関に通院し禁煙治療を完了した区民に助成金を支給します。

●対象…区内在住で、妊娠本人および妊婦や18歳未満の子どもと同居する方などで、禁煙意思のある方(健康保険で禁煙治療を受けることができる方に限る)※禁煙治療開始前に区へ登録手続きが必要です。詳細は区ホームページで確認するか問い合わせてください。

●助成額…20,000円　●定員…50名

問地域保健課がん対策・健康計画グループ☎3987－4243

放課後も日曜日も　中高生センター「ジャンプ」に集合!!

区内に2つある中高生センター「ジャンプ」は、皆が思い思いの時間を有意義に過ごせるよう、中高生が作る中高生のための居場所です。

7月からはジャンプ長崎も日曜開館します。 放課後も、土日も「居場所」としてぜひ活用してください。

フラッと立ち寄れる中高生の居場所

●開館時間…月～金曜日／午前10時～午後8時(中学生は午後7時まで)、土・日曜日／午前10時～午後6時

●休館日…祝日、年末年始

問ジャンプ東池袋(東池袋2－38－10 2階)　☎3971－4931
ジャンプ長崎(長崎2－24－13)　☎3972－0035

7月1日(日)スタート　すべての区民ひろばが日曜開館!

区民ひろばとは赤ちゃんから高齢の方まで、世代を超えて地域の方々が気軽に集まり、活動できる施設です。日曜日は区民ひろばに、家族と一緒に立ち寄ってみませんか?

子育てひろばに集まれ!

すべての区民ひろばに備わる「子育てひろば」は、子どもと保護者が自由に利用できるスペースです。

イベントが盛りだくさん!

地域の団体やサークル活動による季節の行事、ひろばまつりなど、幅広い年齢層が楽しめるイベントを開催しています。

問地域区民ひろば課自主運営支援グループ☎3981－1507

食の広がりを見つけよう　6月は食育月間です!

豊島区は2019年「東アジア文化都市」の国内都市に決定しました。この機会に日本の「和食」に影響を与えた東アジアの食文化について学んでみませんか?

問地域保健課保健事業グループ☎3987－4660

食育講演会

❶街の巨匠に学ぶ「西洋料理の極意をシェフに聞こう」

6月25日(月)　午後7時～8時30分

WACCA池袋5階 もうひとつのdaidokoro(東池袋1－8－1)

◇講師…全日本司厨士協会城北地区本部の先生方

◇40名※当講座は年3回シリーズのうち1回のみ参加可。

❷「便利な食品、賢く選んで健康づくり～無理なく食事のバランスを整えるために～」

7月10日(火)　午後1時30分～3時30分　池袋保健所

◇講師…女子栄養大学准教授／林 芙美氏◇40名

申電話で❶は保健事業グループ☎3987－4660、❷は健康推進課栄養グループ☎3987－4361へ

※いずれも先着順。

“としま”豊かな食コンクールに参加しませんか?

小・中学生の部　調べ学習コンクール「東アジアの食文化(日本、中国、韓国)について調べてみよう」

●応募期間…8月1日(水)～31日(金)　●結果発表…10月初旬

高校生の部　メニューコンクール「味噌(みそ)を使った一品料理」

●応募期間…6月11日(月)～29日(金)

◇一次審査発表終了後、WACCA池袋5階もうひとつのdaidokoroで料理対決。

◇後援…東京ガス(株)、(株)おいしいにっぽん(メニューコンクールのみ)

※詳細はコンクール応募用紙(池袋保健所、長崎健康相談所、図書館などで配布。区ホームページからダウンロードも可)参照。

各チームの応援ギャラリーも審査に参加できます!
申当日直接会場へ。

子どもの料理教室「街の巨匠に学ぶ～挑戦しよう!プロの技」

8月7日(火)　武蔵野調理師専門学校(南池袋3－12－5)

●午前コース…午前9時30分～午後0時30分
メニュー／若鶏もも肉野菜包み焼、エクレア

●午後コース…午後1時30分～4時30分
メニュー／野菜たっぷり“チキンポットパイ”、フルーツタルト

◇区内在住、在学の小学5年生～中学3年生◇各40名

申申込み方法は区ホームページ参照。いずれか1コースのみ

※応募者多数の場合は抽選。

食育や食の情報に関する展示を行ないます

●中央図書館
5月26日(土)～6月21日(木)

●池袋保健所鬼子母神PLUS
6月1日(金)～30日(土)

6月は環境月間です

昭和47年に開催された国連人間環境会議を記念して、国連は毎年6月5日を「世界環境デー」と定めました。日本ではその日を「環境の日」、6月を「環境月間」としています。

豊島区はクール・チョイス(COOL CHOICE)を進めています!

●クール・チョイス(COOL CHOICE)とは、温暖化対策のために、省エネ・低炭素型の製品やサービス、行動などの「賢い選択」をする取組みです。

＼豊島区のクール・チョイスアクション／

●COOL BIZ(クールビズ)アクション
5～10月は涼しく快適に格好良く働けるビジネススタイルで!

●節電アクション
環境省による環境マネジメントシステム、エコアクション21の全施設認証取得を目指します!

★環境月間パネル展
クール・チョイス(COOL CHOICE)アクション
～日頃の小さな行動から未来を変えていこう～

6月1日(金)～28日(木)　午前8時30分～午後5時15分　区役所本庁舎4階東側

私たち一人ひとりが気軽にできる地球温暖化対策をパネルで紹介します! ぜひ、ご覧ください。

＼あなたのクール・チョイスアクションをお手伝い!／

省エネ啓発機器貸出し中!　※貸出要件、貸出期間、申込み方法などの詳細は問い合わせてください。

ワットアワーメーター

家庭用電気製品につなぐと、消費電力を測定できます。

消費電力が多い電気製品を見つけて、節電に役立てよう!

家庭用省エネナビ

家庭の分電盤に電力センサー(測定器)をつないで、電気使用量や電気代、二酸化炭素排出量をリアルタイムで表示します。

電気使用量の目標値を設定し、オーバーしたらランプでお知らせ! ムダのない省エネ行動が身に付きます!

問環境政策課事業グループ☎3981－2771

安全・安心・健全で地域に開かれた住宅宿泊事業をめざします!

6月15日から新法事業がスタート!

「住宅宿泊事業法」に基づき、「住宅宿泊事業者」として区に届出を行なった方は、年間180日を超えない範囲で、住宅を活用した宿泊サービスの提供が可能になります。

※届出をせず宿泊させた場合は、無許可営業として旅館業法違反となり、罰金などの罰則規定があります。

問生活衛生課環境衛生グループ☎3987－4176

豊島区ルールを定めました

届出前に必要なこと

- 区独自の事前届出説明書による準備
- 住宅の衛生や安全措置
- 20m範囲内の周辺住民などへ書面での事前周知

届出住宅

法定標識を掲示します。集合住宅は、郵便受けに貼る簡易な標識を発行します。また、届出住宅は区ホームページで公表します。

住宅宿泊事業者の業務

- 宿泊者へ対面での本人確認と鍵の手渡しを行ないます。
- 宿泊者に対する近隣住民への配慮事項を説明します。
- 事業により生じたゴミを事業系ゴミとして処理します。
- トラブルには、業者が30分以内に対応します。
- 区内観光情報や祭礼など地域資源の紹介に努めます。

区の条例は、事業の運営状況、区内の生活環境などを踏まえ、必要な見直しを図ります。

「東アジア文化都市2019豊島」

ロゴアンケートにご協力ください！

問東アジア文化都市2019豊島準備委員会事務局☎4566－2841

3つのデザインから「東アジア文化都市2019豊島」にふさわしいと思うものを1つ選んでください。

A案

豊島区のシンボル的な存在である〈ふくろう〉をモチーフに、多色に輝く瞳で多様性を表しました。〈ふくろう〉の暗闇を見る瞳には、混沌とした先の未来を見定め、切り開く力があります。みるには5つの「見る」「観る」「視る」「看る」「診る」があり、そしてもうひとつ「未る」という意味を込めました。

B案

TOSHIMAの「T」をモチーフに3つの国の結束と躍動を表現しました。色とりどりの線の色は、多彩な文化、芸術、国籍などを表し、日本伝統の工芸品でもある組紐のような結び目は、絆や結束を表しています。同時に、結び目を中心にして伸びていく三本線は、エネルギー溢れる活き活きとした生命力を表現しています。

C案

希望に満ちて輝く〈ふくろう〉の顔とモニュメントや建物、老若男女が文化芸術活動に参加、鑑賞し、楽しんでいる様子を配しました。安定を表す深い紺色と、明るくエネルギッシュなオレンジの2色のコントラストでインパクトを与えつつ、優しい形のロゴタイプとともに親しみのある雰囲気にデザインしました。

●東アジア文化都市とは

日本・中国・韓国の3か国で、毎年各国から1都市ずつ、その国の代表となる都市を選び、文化・芸術分野での相互交流を行なう文化庁による国家プロジェクトです。東アジアの多様な文化を世界により強く発信し、文化芸術やクリエイティブ・観光産業が継続的に発展することを目指しています。

●「東アジア文化都市2019豊島」について

豊島区は、豊富なメニューの文化資産をもとに「国際アート・カルチャー都市構想」を掲げ、国際的な発信も視野に入れた文化によるまちづくりを進めてきたことで立候補し、2019年の国内都市として選ばれました。
「東アジア文化都市2019豊島」では「舞台芸術」「マンガ・アニメ」「祭事・芸能」を3つの柱とし、日中韓の都市間交流を行ないます。

アンケート方法

①インターネット
「東アジア文化都市2019豊島」公式ホームページにアクセスしてください。
HPhttps://culturecity-toshima.com

②アンケート用紙
区内の施設に設置された回収箱に入れてください。
●主な設置場所…としまセンタースクエア（区役所本庁舎1階）、東・西区民事務所、図書館、区民ひろば、地域文化創造館

③郵送
ロゴ案を1つ記入のうえ「〒171−8422　南池袋2−45−1　東アジア文化都市2019豊島準備委員会事務局」へ。

アンケート締切

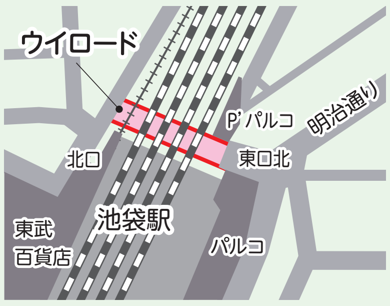
7月10日㈫ ※郵送は消印有効

アンケートを参考に東アジア文化都市2019豊島準備委員会でロゴを選定します。結果は区ホームページ、「広報としま」、「東アジア文化都市2019豊島」公式ホームページで2018年の日中韓文化大臣会合での開催都市正式決定後に発表します。

ウイロードの再生に挑戦します!

1000万のたましいを呼び覚ます「色のすること」～Tour of WE ROAD～

老朽化したウイロードの漏水対策工事を行なうとともに、「明るい」「きれい」「女性に安心」「快適性」をキーワードに再生します。美術作家／植田志保氏による、豊島区の歴史と文化を色に映し出すアート空間を制作し、ウイロード全体を五行説になぞらえ、それぞれ異なった世界からなる物語として、時間軸を交えて描きます。「東アジア文化都市2019豊島」の開催期間中の公開制作を目指します。



プロフィール　美術作家｜植田志保氏

色に立脚した表現活動を軸に「色」の有機的な動きを捉えた作品群『色のすること』や、対話を通し個人の記憶や意識に潜む「色」を顕在化させる対話描画"In a Flowerscape"をライフワークとして行なうなど、多岐にわたる。

植田志保氏と対話する事業説明会を開催します

6月8日㈮　午後7時から　としまセンタースクエア（区役所本庁舎1階）
◇300名　申当日先着順受付。
問道路整備課橋梁設計グループ☎4566−2685